

平成 30 年度（2018 年度）「住総研 研究・実践選奨」受賞者

住総研では、住まいに関する研究振興並びに研究活動の活性化に資することを目的として、『住総研 研究論文集・実践研究報告集』に掲載された論文の中から、優れた論文 2～3 編を毎年表彰しています。

今年度は、次の 4 編の論文が受賞されました。

（研究 NO. 順／所属は『住総研 研究論文集・実践研究報告集』掲載当時のもの）

		氏名	所 属	論文主題／副題（テーマ）
1	主査	秋山 祐樹	東京大学空間情報科学研究センター 助教	マイクロジオデータを用いた家賃形成メカニズムの研究—住まい手からみた住宅の価値と市場価値の乖離に着目して— (研究／重点テーマ)
	委員	小川 芳樹	東京大学生産技術研究所 特任研究員	

2	主査	寺尾 仁	新潟大学 准教授	フランスにおける新たな「不適切住宅」の実態と対策の研究—日本の空家・管理不全マンションを考える示唆— (研究／自由テーマ)
	委員	阿部 順子	椛山女学園大学 准教授	

3	主査	山中 新太郎	日本大学 准教授	韓国ソウルの ^{ヨシチョン} 考試村の成立過程と居住機能分化に関する基礎的研究—考試院の分布と考試村での生活パターンを中心として— (研究／自由テーマ)
	委員	重枝 豊	日本大学 教授	
		全 映勳	中央大学（韓国） 教授	
		申 相永	ソウル研究所（韓国） 研究委員	
		趙 在赫	フリーランス	

4	主査	黒本 剛史	鹿島建設株式会社	原発被災地域の大量空きストックの利活用 に向けた実践的研究—人口激減と居住概念 の変化に対応する新マネジメント方法の構 築— (実践／自由テーマ)
	委員	川田さくら	厚生労働省	
		太田 慈乃	東京都庁	
		益邑 明伸	東京大学大学院工学系研究 科 博士課程	
		窪田 亜矢	東京大学大学院工学系研究 科 特任教授	

以 上